

[報告] 愛知大学国際コミュニケーション学部 における英語教育の実践

塚本倫久, ジョン・ブランデル

要 旨

本稿は、愛知大学国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科における英語教育の特色と実践について報告するものである。カリキュラムの特色、小人数クラスにおけるオーラル・コミュニケーションの実践、インターネットによる Cobuild Direct を利用した英作文授業などについて取り上げ、開講後1年半の実践経過を述べる。

0. はじめに

愛知大学国際コミュニケーション学部は、国際社会に通用するコミュニケーション能力をもった人材の育成を目的として、1998年4月、豊橋校舎に開講した。英語、独語、仏語、中国語の4専攻言語をもつ「言語コミュニケーション学科」、生活習慣や歴史、民族性など各国の文化を比較し、異文化理解、国際理解を深める「比較文化学科」の2学科を設置している。授業では、国際社会でコミュニケーションを図るために意志を伝えることができる語学力だけでなく、異なる文化や価値観への理解力、自分自身の考えを発言できる自己発信能力を育成するため、外国語、情報処理、文化の国際比較、国際理解の4つを柱とする実践的な教育を展開している。本稿では、特に言語コミュニケーション学科の英語教育の実践について報告することにしたい。

1. 言語コミュニケーション学科における英語カリキュラムの特色と人員

これまで大学の語学教育において、学生の外国語運用能力を向上させるために、いかに小人数クラスを設けるかということが常に議論になってきたが、言語コミュニケーション学科の大きな特色は外国語の授業に関して1年次から4年次まで徹底した小人数教育を実現したことである。英会話の授業は、短期のネイティヴスピーカーを採用することにより1クラス15名以下、リーディング、ライティングにおいても30名以下で授業を行なっている。そして、英会話、リーディング、ライティングはそれぞれ、1年次の基礎的なレベルから段階的に初級、中級、上級へと積み上げていく方式をとっている（カリキュラム表参照）。

		1年次		2年次		3年次		4年次		
		1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester	
基幹科目	A群 (6以上)	外国語学習入門 比較文化入門 文化人類学入門 生活文化論	言語文化論 国際文化関係論入門 博物館学入門	国際政治論入門 国際ビジネス入門 比較文化論Ⅱ(比較文学) フィールド・ワーク入門	比較文化論Ⅰ(比較思想) 比較文化論Ⅲ(比較宗教)					
	B群 (6以上)	異文化間コミュニケーション 言語学概論Ⅰ	言語学概論Ⅱ	映像コミュニケーション マスコミュニケーション ネットワークコミュニケーション						
演習科目 (18以上)		外国語事情 入門ゼミ	日本語コミュニケーション技術Ⅰ	日本語コミュニケーション技術Ⅱ		演習Ⅰ		演習Ⅱ		
外国語・ 展開科目 (46以上)	英語	英語発音練習 英会話初級Ⅰ 英作文初級Ⅰ Intensive ReadingⅠ	英会話初級Ⅱ 英作文初級Ⅱ Intensive ReadingⅡ 英作文初級Ⅲ	英会話初級Ⅲ、Ⅳ 英作文初級Ⅳ Intensive ReadingⅢ Practical English	英会話中級Ⅰ 英作文中級Ⅰ Extensive Reading English GrammarⅠ	英会話中級Ⅱ 英作文中級Ⅱ English GrammarⅡ	英会話上級Ⅰ 英作文上級Ⅰ	英会話上級Ⅱ 英作文上級Ⅱ	卒業研究	
	中国語		基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ 基礎中国語Ⅲ 中国語学入門	中国語文法概論 基礎中国語Ⅳ 基礎中国語Ⅴ 基礎中国語Ⅵ 口語中国語Ⅰ		口語中国語Ⅱ 中国語テキスト研究Ⅰ	中国語総合研究Ⅰ メディア中国語 コミュニケーション中国語Ⅰ 中国語テキスト研究Ⅱ	中国語総合研究Ⅱ コミュニケーション中国語Ⅱ		
	フランス語		基礎フランス語Ⅰ 基礎フランス語Ⅱ 基礎フランス語Ⅲ フランス語会話入門	基礎フランス語Ⅳ 基礎フランス語Ⅴ 基礎フランス語Ⅵ 口語フランス語Ⅰ	フランス語総合研究Ⅰ 口語フランス語Ⅱ フランス語テキスト研究Ⅰ		フランス語テキスト研究Ⅱ	フランス語総合研究Ⅱ コミュニケーションフランス語Ⅱ		
	ドイツ語		基礎ドイツ語Ⅰ 基礎ドイツ語Ⅱ 基礎ドイツ語Ⅲ ドイツ語会話入門	基礎ドイツ語Ⅳ 基礎ドイツ語Ⅴ 基礎ドイツ語Ⅵ 口語ドイツ語Ⅰ	ドイツ語総合研究Ⅰ 口語ドイツ語Ⅱ ドイツ語テキスト研究Ⅰ		ドイツ語テキスト研究Ⅱ	ドイツ語総合研究Ⅱ コミュニケーションドイツ語Ⅱ		
	日本語	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ	日本語Ⅳ 日本語Ⅴ 日本語Ⅵ	日本語Ⅶ 日本語Ⅷ						
	関連科目			British History American History 日英通訳法 古典ギリシャ語Ⅰ ラテン語Ⅰ	英語学概論 英語音声学 日英翻訳法 古典ギリシャ語Ⅱ ラテン語Ⅱ	英語の歴史 イギリス文学講読	英語学演習 アメリカ文学講読			

英語専攻コースについて言えば、さらに英語学概論、英語音声学、英語史、イギリス文学、アメリカ文学、英語学演習などの専門科目、日英通訳法、日英翻訳法、Business English、英検対策としてPractical Englishなど実務的な科目、異文化間コミュニケーション、国際文化関係論入

門、国際政治論入門などの国際文化理解科目を組み入れ、外国語運用能力の向上と異文化コミュニケーションに欠くことのできない文化、実務的な教養がバランスよく形成されるようカリキュラムを配置している。授業時間数は4年間で630時間を超える外国語の時間数を配している。

また、1,2年次に担当された日本語コミュニケーション技術Ⅰ、Ⅱは、実践的なコミュニケーション能力を早い時期から身に付けることができるように、小人数クラスで文章を書き、読み取り、ディスカッションを通してコミュニケーション能力と意欲を高めることを目的としたものである。自分の考えをまとめ、それを効率よく伝達し、相手を理解しようとする意欲なくしては真のコミュニケーションは成り立たないであろう。

言語コミュニケーション学科の1学年の定員は90名（うち英語専攻コースの定員45名）に対し、英語科のスタッフ構成は日本人教員3名、外国人教員3名、さらに短期契約採用の外国人教員5名の計11名。外国人教員の国籍は専任3名がイギリス人、短期採用教員（1999年度）はそれぞれアメリカ2名、カナダ2名、アイルランド1名（1998年度はアメリカ1名、カナダ1名、ニュージーランド1名、イギリス1名、アイルランド1名であった）。



日本における外国語学習の環境を考えると、一步大学を出てしまえば外国語を話す機会はほとんどなく、上達のために授業以外に、いかにその環境を作り出すかということは新学部設置委員会での課題であった。そこで短期採用の外国人教員に協力をもとめ、月曜日から金曜日の週5日間、午前9時30分から午後4時30分まで、常に少なくとも1名の教員が研究室に滞在し、

学生といつでも会話ができるように office hour を設けることにした。幸い設置委員会の期待通り、現在この時間は多くの学生によって利用され、質問や英会話練習の場として活用されている。短期外国人教員のための5人用の大きな研究室には、教員の机以外にも数人の学生と教員が囲んで話すことができるようにテーブルを置き、研究室の入口には大きな伝言版を設け、学生と教員との連絡が密にとれるような配慮も行なっている。

また、授業のない1月、2月、3月にも短期採用のネイティブの教員1名の協力を得て、月曜日から金曜日、毎日90分、単位とは関係のない自主選択制のオーラル・コミュニケーションの授業を開講し、9時30分から4時30分までの office hour を設けた。授業の登録者数は35名で、学生からの反応も好評であった。

2. オーラル・コミュニケーションの実践報告

オーラル・コミュニケーションは、クラスサイズ15名以下の小人数教育を実践するために、日本人教員と打ち合わせの上、ネイティブの専任外国人教員3名を中心に短期採用の外国人教員(5名)をコーディネイトする形式で行なわれる。つまり、専任外国人教員を中心に授業計画が組まれ、短期採用の外国人教員との間で定期的(2週間に1回)に打ち合わせを行ない、その都度補助教材、進度等について検討が加えられる。

ここでは、1年次1セメスターに配当された「英会話初級I」と「英語発音練習」の2科目を中心に紹介する。それぞれの、授業概要、目標は次の通りである。

英会話初級 I …native speakerによる、基礎口語練習。挨拶から入り、日常生活に必要な短めのいわゆるサヴァイヴァル英会話の表現を練習を通じて習得することを目標におく。基礎口語英語練習のステップ1。

英語発音練習…native speakerによる、発音指導、及び練習。個々の母音の発音や子音の正確な発音法だけでなく、phrase, clause, sentence 単位の、アクセントやイントネーション等に関する発音上の留意点についても指導、練習する。

使用テキストは「英会話初級 I」「英語発音練習」とともに Liz & John Soars, *Headway-Student's Book Part A, Elementary* (OUP) 1996。

これまでの英語教育の議論には、買い物や道を尋ねたりといった旅行英語、いわゆるサヴァイヴァル英語は街の会話学校にまかせ、大学で教えるべきものではないという議論もあったが、われわれの学科では、外国で生活する上で必要最低限の英会話能力が備わっていないのでは、その後の目的も達成されないという観点から、サヴァイヴァル英語から始めることにしている。

1年生の春学期には「英会話初級I」と「英語発音練習」の週2回ネイティブ・スピーカーによる授業がある。これらの科目は、それぞれ異なる教員がペアを組み授業内容が効果的に連動するよう綿密に打ち合わせを行なっている。これは次のような点を考慮したためである。

- (1) 学生は1週間に2名の教員に当たることにより、様々な英語（アメリカ、イギリス、カナダ、アイルランド等）を体験することができる。
- (2) 教員側は2名で教えることにより、学生の英語運用能力を二重にチェックすることができ2名の教員による客観的評価が可能になる。

日本人学生の一般的傾向として、入学時において、スピーキングの能力はリーディング、ライティングに比べて劣っており、授業中は受け身で積極的に話そうとしない傾向がみられる。実際に、国際コミュニケーション学部の学生においても昨年度、開講直後そのようなことが問題になったが、原因のひとつに、一人一人が積極的に参加しなければならないオーラルコミュニケーションの授業形態に学生が慣れていないことも考えられた。

そこで、ネイティブの教員たちは入学後できるだけ早い時期に一人一人個別にインタビューを実施することにした。それを通じて個々の学生のスピーキングの能力を把握すると同時に、ペア、グループそしてクラス全体いずれの場合にも、間違いを恐れずに、一生懸命話そうと努力することが現段階では文法的正確さより重要であることを伝えた。その後学生は授業の雰囲気によりはやく慣れることができ、スピーキングへの意識も向上したことから、非常に効果があったように思われる。本年度は、そのような経験から、新入生に対して開講直後にインタビューが行われた。

オーラル・コミュニケーションの評価は次のような基準で行われる。

Continuous assessment of work in class	70%
Classroom presentation/ Group role-play assessment	10%
Final interview	20%

classroom presentationではメモを参照しながら、学生はあるトピック（外国に旅行したこと、趣味、関心を持っていること）について5分間のshort presentationを行なう。またgroup role playでは、渡された写真を見ながら学生は3~4人の小グループで会話をすることが求められる。これは学生の自然な会話能力を評価するのに有効な方法である。

インタビューでは、流暢さ（Fluency）、発音（Pronunciation）、文法（Grammar）、語彙力（Vocabulary range）、積極的に伝えようとする能力（Ability to Initiate Conversation）を基準に評価を行なった。

2年生における新しい試みについて若干ふれておくならば、学生たちは、かなり正確な文章で応対することができ、積極的に話そうとする意欲が生まれてきたことから、授業以外に学生同士がペアで自らテーマを決めて、10分間の会話をテープに録音し、毎週提出することを義務づ

けている。教員は間違いをチェックし、コメントとともに学生に返している。



3. リーディング，ライティングにおける試み-インターネットによるコーパスの利用など

リーディング，ライティングは基本的に日本人教員が担当するが，初級英作文Ⅱ（1年生秋学期）では一部ネイティブの教員の協力を得て行われる。また，新しい試みとしてインターネットによるコーパスを利用した英作文の授業も行なわれた。テキストの選択は担当教員に一任されているが，授業目標にあわせてその内容とレベルに関して厳密に検討を加えた上で決定されることになっている。1年次，2年次（春学期）の授業目標と使用テキストについて示しておく。

リーディング

Intensive Reading I …高等学校で学習した基本的な文法を重視した英文和訳練習。英文の（1年生春学期）
構造等，文法的なことがらを確実に把握しながら，語彙，慣用句等を習得することを目標とする。英文読解のステップ1。

（使用テキスト例：S. Kathleen Kitao/Kenji Kitao, *British Patterns*, Roald Dahl, *The Umbrella Man* etc.）

Intensive Reading II…「Intensive Reading I」から引き続くもので，基本的な文法を重視した英文和訳練習。比較的多くの語彙を習得するためにも，（1年生秋学期）
「Intensive Reading I」よりは，読む分量が多くなる。英文読解の

ステップ2。

(使用テキスト例: Joseph Shales/Juri Abe *Different Realities, A Little History of the USA* etc.)

Intensive Reading Ⅲ …英文和訳練習ではあるが、「Extensive Reading」への橋渡しでもあり、読む分量は「Intensive Reading I」「Intensive Reading II」

に比べて、かなり多くなり、それなりのスピードが要求される。英文読解のステップ3。

(使用テキスト例: *Words to Remember* etc.)

ライティング

英作文初級 I …基本的な英文作法練習で、文法を重視した sentence 単位の英訳。高等学校

(1年生春学期)

での文法・作文の英語学習の復習から出発し、それを多少発展させた程度までを目標とする。基本英作法のステップ1。

(使用テキスト例: 木塚晴夫・Roger Northridge, *Common Errors in English Writing*, 根間弘海・Brian Smille *Enjoy Expressing Yourself* etc.)

英作文初級 II …基本的な英文作法練習で、文法を重視した英訳。「英会話初級 I」に続く

(1年生秋学期)

もので、日常生活に必要なことがらを平易な書き言葉で表現することを目標とする。基本英作法のステップ2。

(使用テキスト例: 田本健一・Simon Sanada, *Basic Skills in English* etc.)

英作文初級 III …基本英作文練習。「初級英作文 I」「初級英作文 II」に続くもので、日常生活に必要なことがら及び、文化、歴史、社会等を含む多少抽象的なことがら

(1年生秋学期)

を平易な書き言葉で表現することを目標とする。

(使用テキスト例: 桃沢力「場面とジャンルで考える英作文」 etc.)

英作文初級 IV …基本英作文練習。「初級英作文 III」に続くもので、日常生活に必要なことがら及び、文化等の多少抽象的なことがらを平易な書き言葉で表現することを目標とする。パラグラフ単位の英作文を導入。

(2年生春学期)

(使用テキスト例: S. Kathleen Kitao & Kenji Kitao, *Basic Writing Strategies* etc.)

塚本担当のインターネットを利用した初級英作文 II では、Cobuild Direct が用いられた。英国バーミンガム大学と Collins 社が産学協同で Cobuild 辞典編纂のために構築された The Bank of English (現在3億数千語) の6分の1 (約5千万語) のコーパス、Cobuild Direct は現在インターネットによって利用することができる。Cobuild Direct を英作文の授業に導入する利点として次のことがあげられる。

- ・語法上の問題を自ら実際に用いられた大量の英文から解決することができ、それによって語

感を養うことができる。

- ・規範的ではなく記述的な立場から現代英語の姿をとらえることができる。
- ・コロケーション、動詞のパターンなど外国語として英語を学ぶ者にとって貴重な情報を得ることができる。

授業では次のような方法で利用された。

- ・教師の側が解説を加えるべき語法について資料として提示する。
- ・学生の側から語法に関する質問が出たときに、それを Cobuild Direct で調べるように促す。
- ・学生が予習の段階で適当な英語表現が手元の辞書に見出せないとき、Cobuild Direct を辞書代わりに使う。

具体例を次にあげておく。(1) は空所に入る適当な語を補充する問題である。正解は (3) cause havoc であるが、コーパスで cause を調べることによって cause が病気, trouble, problem といった悪い意味をあらわす名詞とともに用いられるということがわかる。学習者は、コーパスを見ることにより、多くの用例から語彙の詳細な用法を知ることができる点で辞書よりもすぐれている。

(1) 「バッタは中東諸国を大混乱に陥れることがあります」

Locusts sometimes () in Middle Eastern countries.

(1) bring havoc (2) invite havoc (3) cause havoc

and Kinsella, of Nottingham, deny <FCH> tuberculosis, bovine. <FCH> any signs of moisture. This may be s were fairly sure the problem was noxide and hydrocarbons, which can ochloride up <FCH> E' number <FCH> ubt because they can work' without o exorcize demons, it occasionally he sun can dry out and crack lips. kilograms per day. The flaking is avid Thomas why this in itself has eal interest rates in the UK could high winds swept through the area, of closeness and warmth, which had ate specific foods <Q1> which are he upset and damage which has been gangs coming in such as the people if his Yorkshire comments at times square position at impact, it will cause you problems. At any rate, by impact my hip causing an explosion and attempted murder. Kinse caused by the bacterium <FCH> Mycobacterium bovi caused by condensation # itself a problem # but caused by a computer programming glitch, and pla cause cancer and form low-level ozone, causing Causes headaches, sulphurous solutions with <FCH> causing his collapse. It is often said that sanc causes madness, and hopefully sometimes can redi causing painful and unsightly cold sores. Use s caused partly because of an electrolytic effect caused problems for the Asian sufferers. SKINGRAF cause recovery to slow.<t> Investment house Gol causing smouldering embers to ignite surroundin caused the son to feel depressed and angry:Now I causing them to experience allergic weight gain, caused to us by these articles is an extremely s causing trouble such as whatever. They will inte cause us embarrassment. For example, in 1988 whe

次に、(2) の例では、「...は～に役立つ」と言うときの「...be useful for + 名詞」のパターンは、コーパスによれば、きわめて多くの例において very, particularly, especially などの強意の副詞とともに用いられている。学習者は単に「be useful for + 名詞」ではなく、「be very/particularly/ especially useful for sb/sth」としておぼえることがより有効である。

(2) 「...トラベラーズ・チェックは海外旅行をする人たちに役立つものです。...」

...Traveler's check is very useful for people going abroad...

track to give a quick impression of the contents - very useful for track selection or programming. Sh
 track to give a quick impression of the contents - very useful for track selection or programming. Sh
 to relax and ease nervous tension and stress. It is very useful for all muscular aches and pains. It i
 ard corners, or underneath furniture and is particularly useful for removing tiresome pet hairs, ootto
 /c> <h> FLAT OUT </h> A pull-out ironing board can be so useful for taking out those last minute creas
 s callers. Chime has volume control and indicator lights useful for the hard of hearing). New coding f
 t smooth and silky to the touch. No stubble, no trouble. Useful for upper lip, chin and sides of face.
 it outside - it even has a pouch for pegs. Indoors, it's useful for helping with the ironing again, no
 blanks on which to write your own messages. Particularly useful for children's rooms, the home office,
 food hot at your dinner table for 40 minutes. It is very useful for warming plates too. 8 3/4" sq (22c
 8852 £ 4.75 <p> <c> PHOTO </c> E. Zipper Bags - So useful for storing and protecting a multitude f
 l items together and prevent damage to delicate washing. Useful for tights, knitwear, smalls, baby clo
 ven the cover has a storage compartment. It's especially useful for taking to needlework, dressmaking
 it takes. Much safer than using matches, and especially useful for lighting the fire, candles, gas co
 rom a wide range of double ovens, which are particularly useful for large households. There's so much
 e some addresses and phone numbers that are particularly useful for general information and contacts f
 quently vomiting at the same time. This medicine is very useful for HOLIDAY DIARRHOEA caused by eating
 nd dislike fatty food. <h> Sulphur </h> <p> This is very useful for people who have a long history of
 ears and anxieties cause a feeling of restlessness. Also useful for panic attacks. <h> Argent. Nit. (A
 ll. <h> Nux vom. (Stress & Insomnia) </h> <p> Especially useful for the tired, burnt out executive who
 to use wiper seals </h> <p> Brush seals are particularly useful for the bottom of doors. If your thres
 seal with big, stiff bristles. <p> Brush seals are also useful for letter boxes. <p> Wiper seals are
 laces which are difficult to reach. This is particularly useful for the elderly and disabled. <p> Low-
 issed areas and streaks. Spray cleaners are particularly useful for glass-fronted oabinets where the g
 u driven, and therefore fairly easy to search, it may be useful for you to enroll for one of the Libra

Lewis (1993 : 121) は「ネイティヴ・スピーカーはきわめて豊富なあらかじめ蓄積された定
 型項目としてのチャンクを保持している。流暢さはチャンクを組み合わせることによって達成
 され、困難を減らしている」と述べているが、自然な英語で表現するためには文法だけでなく
 lexisに目をむけることも重要であろう。

4. まとめ

国際コミュニケーション学部はまだ開講2年目であり、従って本稿もあくまで1年半を振り返
 ったに過ぎない中間報告的なもので、その成果を問うにはさらに時間を要するが、今後は学生
 の語学力を向上させることはもとより、その語学力をもって何をするか、異文化や国際理解へ
 の関心を深め、感覚を磨いていくよう指導していくことになる。

* 本稿は1999年5月22日、愛知大学名古屋校舎で開催された第53回語学ラボラトリー学会
 (LLA) 中部支部研究大会で塚本が報告した原稿に加筆修正したものである。

Reference

Lewis, M. (1993) *The Lexical Approach* Language Teaching Publications